

関平だより

平成 20 年 3 月 弥生号



発行 霧島市営 関平鉱泉所
0120-235-524
定休日 第1及び第3火曜日

霧島の歳時記

龍馬ハネムーンウォーク in 霧島

3月になると、目に春が見えます。川のせせらぎや新芽など、春を待っていたかのように自然が動き出します。

そんな「春は弥生」の3月は、霧島のイベントも多くなります。霧島の代表的なイベントとしてすっかり定着した「龍馬ハネムーンウォーク in 霧島」は、この3月15日(土)と16日(日)の2日間にわたって第12回が開かれます。

坂元龍馬とおりょうが新婚旅行で歩いた道を歩こうという催しで、15日は10キロ(霧島温泉コース)と23キロ(犬飼・中津川コース)、16日は12キロ(花はきりしま菜の花コース)、8キロ(日当山温泉コース)、10キロ(龍馬高千穂登山コース)、20キロ(隼人・天降川コース)があります。



コースの途中にあるいくつかの休憩所では関平鉱泉水も振舞われ、参加者に毎年喜んでいただいています。また、完歩された方には参加賞として無料入浴券が進呈されますので、参加者はいろいろな温泉施設で疲れを癒してください。そして、帰りはドライブスルーの関平鉱泉所で「関平鉱泉」をお買い求めください。



ニュース

先日、朝日新聞に関平鉱泉のことが掲載されました。地方自治体の財源が枯渇気味の中で関平鉱泉水が好調に売り上げを確保し、財政に貢献しているという記事でした。旧牧園町が、この温泉水の直営販売を始めたのは1977年。当時の売り上げは2,000万円でしたが、今や5億円を越す売り上げになったのは、ミネラル分が豊富な温泉水ということもありますが、一重にご愛顧いただいている皆様のおかげです。本当にありがとうございます。



ご報告



接客研修の受講

窓口にご来所いただく方、お電話いただく方、それぞれのお客様には感謝の気持ちを込めて対応させていただいているつもりですが、それでも時にはその対応振りにさまざまなお叱り・苦情をいただきます。直接お叱りをいただく他にも、自分たちが気づかないところについてご無礼な対応になってしまっていることもあるかもしれません。そのようなことのないよう、本庁総務課が主催しました接客研修をほぼ全職員が受けてまいりました。基本的な挨拶、態度、身なり、言葉遣い等の座学だけでなく、実際にやってみる演習(ロールプレイング)も行っていました。ちょっと恥ずかしかったのですが、がんばりました。

食品衛生講習会の受講

関平鉱泉所では、毎日・毎週・毎月と定期的な衛生管理と品質検査を実施しています。その他にも専門家に工場まで来ていただき指導を受けています。その努力により、これほどミネラルの多い水にもかかわらず無菌の水をお届けできるのです。その結果、安全かつ安心な関平鉱泉水として、皆様にご信頼をいただいていると思っています。しかし、世間では昨年の一連の食品偽造問題、今年に入ってから中国製ギョウザ問題等々、日々に新しい問題が発生していますが、関平鉱泉では、鹿児島県薬剤師会が主催した食品衛生講習会に品質管理担当職員を派遣し、新しい知識・技術等を習得してまいりました。関平鉱泉では、これからもこのような新知識・新技術を毎日の実務の中に取り入れ、より安全より安心な水をお届けできるよう日々努力してまいります。



お客様の声

多くのお客様からご意見・お叱りをいただいています。アンケートについては後日まとめて発表いたしますが、紙面の都合上、一部のみを記載いたします。

- 【ご意見】 他社の20ℓのコックで開けやすいものがある。関平鉱泉は堅いし、使いづらい。
- 【お答え】 他社の開けやすいコックは、関平鉱泉でも以前に使用していたタイプです。その型式は、外に出ているため開けやすいことは確かです。しかし、関平鉱泉水はミネラル成分を多く含んでいるため、空気中の雑菌が付着しやすいので、現在の形に変更した経緯があります。現在の形が使いづらいというお声の中、今後工夫を重ねてまいりたいと思っています。

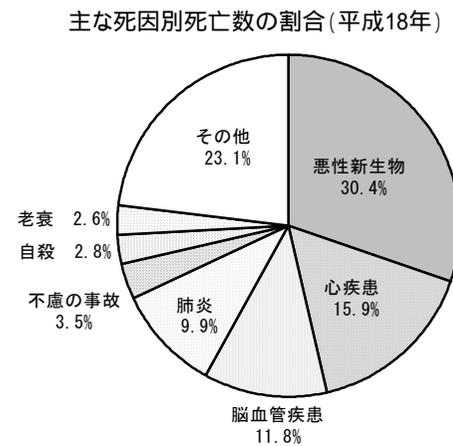
健康知識 その2

前号では、私たちの平均寿命についてお話ししました。また合わせて平均余命・健康寿命についても説明をしましたが、今月は私たちの命を奪う死亡原因を取り上げます。

1. 日本人の死亡原因

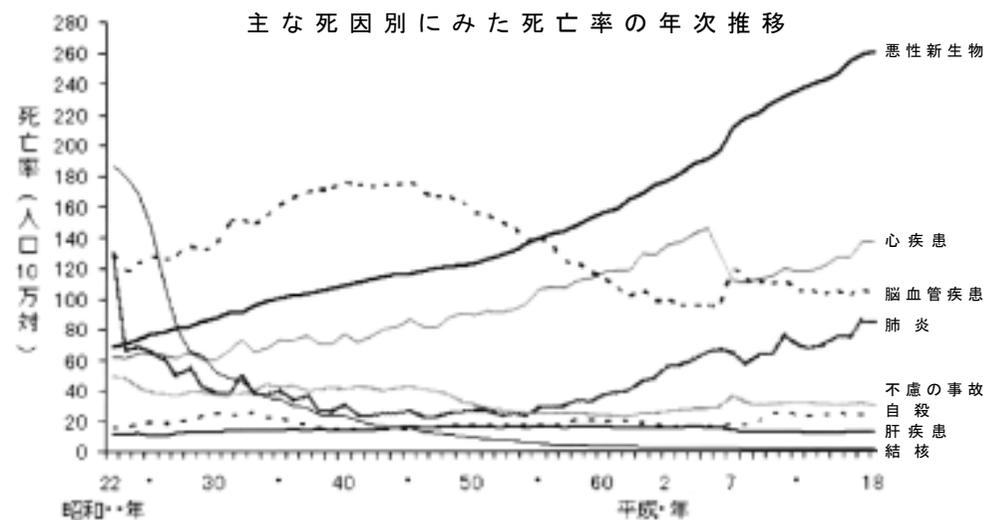
(1) 主な死因別死亡数

厚生労働省の資料によると、平成18年の死因別死亡数は1位が悪性新生物(ガン) 32万9,198人(30.4%)、2位が心疾患 17万2,875人(15.9%)、3位が脳血管疾患 12万8,203人(11.8%)、4位が肺炎 10万7,189人(9.9%)となっています。これで見ると、全死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物(ガン)で死亡しています。(資料:厚生労働省)



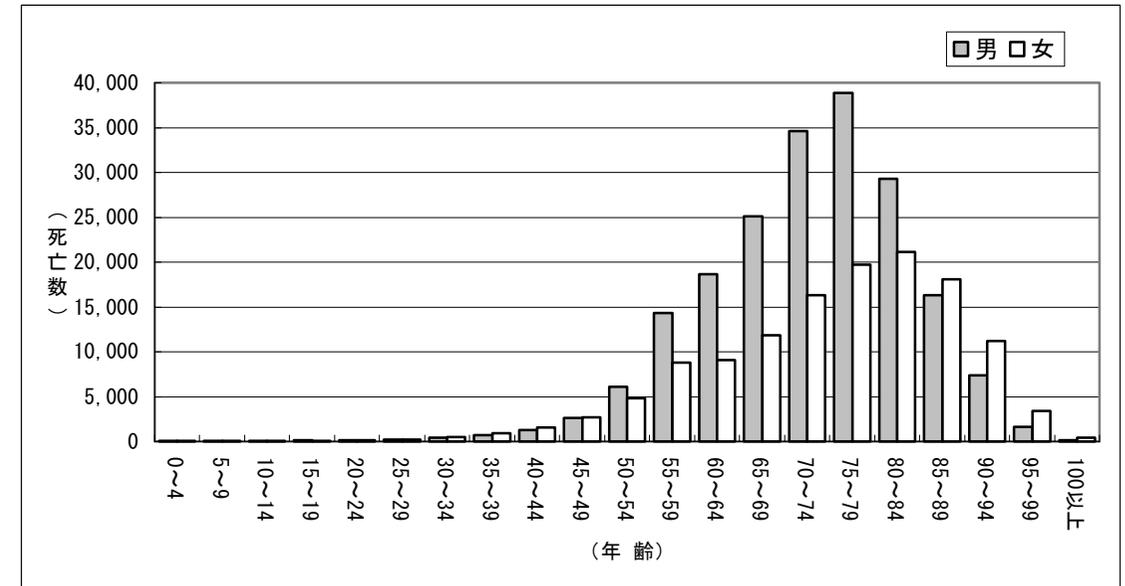
(2) 主な死因別死亡率の年次推移

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物(ガン)は一貫して上昇を続け、昭和56年以降の死因順位1位となっています。(資料:厚生労働省)



2. 悪性新生物(ガン)による年齢別死亡数

悪性新生物(ガン)が怖いのは、およそ3人に1人という絶対数の多さもありますが、その発症が人生の男盛り女盛りから始まることにもあります。以下に男女別年代別の悪性新生物(ガン)による死亡数を転載します。(資料:厚生労働省)



グラフの数字は悪性新生物(ガン)の死亡総数 男 197,984、女 131,214 に対する年齢別死亡数。平成18年。

関平鉱泉職員 2つの誇りと2つの感謝

- 1つ．私達は、鉱泉水を通じて人と自然を結び、お客様の健康づくりをお手伝いできることを誇りに思います。
- 1つ．私達は、お客様のご愛顧で得られた資金で、地域の人々のお役に立てることを誇りに思います。
- 1つ．私達は、お客様からのご愛顧の中で、人と人とのふれあい、心と心のふれあいができることを感謝しています。
- 1つ．私達は、この鉱泉所で天与の恵みに関わる仕事を通じて、悔いのない人生を送れることに感謝しています。

編集者のひとりごと

関平鉱泉をご愛飲いただいている方も、そうでない方も、皆様が健康で長生きしていただくことが私どもの願いです。先月から始めた健康知識はいかがでしたか？ 今月は死亡原因を中心にお知らせいたしました。改めてガンの怖さを知りました。そして、何よりもガン予防が大切だと思いました。来月からは、ガン予防のお話に入っていきます。ぜひ、来月号以降をお読みいただき、少しでもお役に立てていただければと思います。

